

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(数 学)科目名(数学 I、数学A)(3+2)単位 (1)学年 履修規定(必修)

担当者(木村、柳、廣中)

1. 教科書、副教材

教科書	数研出版「改訂版 高等学校 数学 I」, 数研出版「改訂版 高等学校 数学A」
副教材	数研出版「4プロセス 数学 I +A」

2. 科目の達成目標

数学 I、数学Aの基礎基本を確実に理解し、基本的な解法を習得する。その上で、身についた知識を問題に合わせて適切に応用できる問題解決能力と、ポイントを押さえた表現力のある答案作成力を高めていく。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	考査範囲		時間 (予定)
前 期	4月	数学 I 第1章 数と式	式の計算 実数	第 1 回	式の計算 実数 1次不等式 集合と命題	25
	5月	数学 I 第1章 数と式 第2章 集合と命題	1次不等式 集合と命題			
	6月	数学 I 第3章 2次関数	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化	第 2 回	2次関数	25
	7月	数学 I 第3章 2次関数	2次方程式・2次不等式			
	8月	数学 I 第4章 図形と計量	三角比と三角形への応用	第 3 回	図形と計量 データの分析	35
9月	数学 I 第5章 データの分析	データの整理と分散と標準偏差				
後 期	10月	数学A 第1章 場合の数と確率	場合の数 確率	第 4 回	場合の数と確率	35
	11月					
	12月	数学A 第2章 図形の性質	平面図形 空間図形	第 5 回	図形の性質 整数の性質	55
	1月					
	2月	数学A 第3章 整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用			
3月						
評価の 観点・方法	<p>1定期考査・実力考査 教科書の例題や応用例題が完全に自分のものとなって正答(解法の再現)が導かれているか。 本質が理解できているか。考え抜く力が育っているか。適切かつ簡潔な表現力で説明ができているか。 応用力がどの程度身についているか。以上の観点で考査問題を作成する。</p> <p>2評価の方法 試験の結果と日頃の学習状況を評価して、成績をつける。出席と欠席の比率も評価の対象とする。 数学 I、数学Aそれぞれを学ぶ時期に分けて、それぞれの評価をつける。 また、授業に臨む意欲的な姿勢、関心の高さ、真摯かつ謙虚に数学と向き合う態度も評価する。</p>					
学習への 注意・助言	<p>確かな学力を身につけるため以下の4点を徹底させたい。</p> <p>1予習復習を毎日やって、自学自習の習慣を身に付ける。</p> <p>2ただ答えが出ればよいというのではなく、解法や答案の書き方にも注意する。書くことによって考えを整理する。</p> <p>3反復練習をする中で、面倒な計算も速く正確にすることができる。</p> <p>4分からない問題にぶつかってもあきらめずに考え抜くことができる。</p> <p>数学を通して、理解する楽しみや数学の美しさを味わってもらいたい。</p>					